

みちのく未来通信

2012年10月
第二号

1期生20人と夏の集いを開催！

～仲間と力を分かち合いました～

4月にそれぞれの進路へと歩みだした「みちのく未来基金」の1期生20名が集まり、8/28～29の一泊二日で栃木県的那須高原にて近況を報告しあう「夏の集い」を開催しました。

集いでは3月以来会う友達に「どうしてた？元気！？」などと声を掛け合う姿が見られ、久しぶりの再会を喜び合いました。



▲1期生夏の集い

20名が集まると、とても賑やか。

あちこちですぐにワイワイと話が始まります。

美容師の専門学校に通っている学生からは「シャンプーの授業で1番を取りました！」との報告や、「夏休みは実家で弟の家庭教師をしていました！」「運転免許を取りました！」という言葉など、集いの色々な場面でみちのく生の今が垣間見えました。

那須高原 1期生夏の集いプログラム

1日目

バーベキューランチ
りんどう湖でのフリータイム
夕食
キャンプファイヤー
語りの会

2日目

カゴメ農場トマト収穫体験
カゴメ工場見学
ランチ
終わりの会



夏の集い 『みちのく生同士の繋がりが前に進む力に』

▼バーベキューランチ



▼りんどう湖でのフリータイム



★1日目～キャンプファイヤーを囲み語り合いました

昼はりんどう湖でBBQ、夜はキャンプファイヤーで語りの会…とプログラム盛り沢山の夏の集い。この集いのメインとなる「語りの会」では、皆でキャンプファイヤーの火を囲み、入学後の日々を振り返りました。一生懸命に勉強を頑張っている子、新しい環境に馴染むのに精一杯だった子、1人暮らしをエンジョイしている子、など皆の様子は様々。ただみんなに共通しているのは、震災後改めて気づいた「日常のありがたさ」

キャンプファイヤーの最後は、今日を穏やかに終えられたことへの感謝を皆で囁み締め、明日への力としていくことを確かめました。

▼キャンプファイヤー・語りの会



2期生のエントリーは113名
半数は地元大学への進学を希望！

県別進学者状況・内訳(2012年8月末現在)

2012年度(人)					
	申請者	国公立大学	私立大学	専門学校	未定
合計	113	43	32	32	6
岩手県	35	17	6	8	4
宮城県	69	23	23	22	1
福島県	6	3	2	1	0
3県以外	3	0	1	1	1
年度内割合	100.0%	38.1%	28.3%	28.3%	5.3%

今年度、岩手・宮城・福島沿岸部の高校を訪問し調査をした結果、2013年春卒業予定の震災遺児は150名に上ります。そのうち、113名が進学希望の子どもたちです。

今年の傾向として、地元大学へ進学を希望する生徒が多いこと、国公立大学の志望者が多いことが挙げられます。その背景には、家族のそばにいたい、復興の役に立ちたいという気持ちがあると考えています。

▼トマト収穫



▼バス



▼工場見学



★2日目～工場見学から社会を知る～

2日目のメインは「カゴメ那須工場の見学」。カゴメの農園にてトマトの収穫体験をした後、トマトジュースの製造ラインを見学させていただきました。「普段口にしているものが、これだけたくさんの工夫があって作られていることがわかった。」という、いつもとは少し違う視点で社会を見ることができた貴重な機会に、みちのく生の真剣な表情が見えました。



1泊2日の間、色々な話をし、心打ち解け、大いに刺激を受けたみちのく生たち。

終わりの会では「同じみちのく生がどんなことを考えているか知ることができた」「私も頑張ろうと思った！」などの感想が多く聞かれました。

同じ経験をしている彼らの出会いが、彼ら自身の力になることを、みちのく未来基金は願っています。

寄附金内訳(2012年8月末現在)

	金額(円)	金額比率	件数	件数比率
個人	78,179,258	18.3%	1,808	87.1%
法人・団体	350,134,504	81.7%	267	12.9%
合計	428,313,762	100.0%	2,075	100.0%

2012年8月末時点で総額約4.3億円のご寄附を頂戴しています。

温かなお気持ちを寄せていただいていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

2期生の入学年度奨学金給付額は、約1.4億円を見込んでいます。現1期生の給付と合わせますと、2012年度(2012年10月～2013年9月)の給付金額は約2.4億円となります。

四半世紀に渡って続くみちのく未来基金は、25年間での給付総額を約70億円と見込んでおります。これからも広くサポーターを募り、みなさまと共に子どもたちを支えていきたいと考えております。今後とも継続的なご支援を宜しくお願い致します。



新しいスタッフが加わりました



吉田朋代

(ニックネーム：ともさん)

山田理美

(ニックネーム：ひらちゃん)

福島県と宮城県塩釜市以南の高校を担当しています。

生まれも育ちも福井ですが、大学と今までの社会人生活は、関西が基盤でした。

趣味は買い物と、散歩。
よろしくお願いいたします。

事務局内で電話受付などの事務作業を担当しています。

栃木県出身で山と緑に囲まれて育ったので、アウトドアや旅行が大好きです。

目指すは47都道府県制覇！
どうぞよろしくお願いいたします。

「michi cafe」

OPEN します☆

「みちのく生同士の交流の場がほしい！」

「1年に数回の集いだけでは話し足りない！」

みちのく生のそんな声に応えて、事務局では、みちのく生が気軽に立ち寄れる場「michi cafe」を開催することになりました。

みちのく生同士の出会いは、彼らを支える力になります。

集いにはなかなか参加できない学生も「michi cafe」を交流のきっかけにしてもらいたいと考えています。

会場は、仙台・盛岡・東京を予定。

月1回（盛岡は2ヶ月に1回）、各会場でお茶を用意し、みんなが集まれるような場所を設けます。

まずは10月14日の東京会場からスタート。

「michi cafe」の様子は、みちのく未来通信を通じてお伝えしていきます！



★みちのく未来基金★

《発起企業》

カゴメ株式会社 / カルビー株式会社 / ロート製薬株式会社

《支援企業・団体》

株式会社アンズコーポレーション / 岩井機械工業株式会社 / エムスリー株式会社 / 株式会社大木 / 株式会社O2（オーツー）
株式会社カナエ / NPO法人キャットミント / 小菅株式会社 / 株式会社サークルKサンクス / 三和工業株式会社 / 株式会社CDG
株式会社関本組 / 大地みらい信用金庫 / 不二製油株式会社 / 富士ゼロックス宮城株式会社 / BLEA / 北陸朝日放送株式会社
株式会社薬王堂 / 八千代電設工業株式会社 / ユニー株式会社 / 医療法人社団 和幸会

《後援企業・団体》

岩手日報社 / 河北新報社 / 株式会社ガリバーインターナショナル / 鈴木友隆公認会計士事務所 / 福島民報社
公立学校法人宮城大学
(五十音順)

その他ご協力頂いている全ての皆様に感謝致します。

編集後記

1期生を送り出しホッとするのも束の間、すぐに2期生のエントリーが始まり、気づけば夏の集い・・・という息つく間もない毎日でした。夏の集いで久しぶりに会うみちのく生からは、学校生活での気づき、悩み、1人暮らしで改めて気づいた家族への思いなど、色々なことを感じながらも、明るく頑張っている、たくましい姿が垣間見えました。一方、これから2期生になる高校3年生にとっては、勝負の夏休みが終わり、いよいよ進路が見え始めてきたころでしょう。3月に会える未来のみちのく生を心待ちにしています！

(みちのく未来基金事務局 M.N)

公益財団法人みちのく未来基金



〒981-3135

宮城県仙台市泉区八乙女中央5丁目10番8号

八乙女ユナイトビル2F

電話番号 022 (343) 9996

FAX 番号 022 (343) 9997

E-mail info@michinoku-mirai.org

HP http://michinoku-mirai.org/